



高齢者らに運動の楽しさを伝える
社会人サッカーチーム監督

ひと

昨年4月に家賃債務保証業ジェイリース(大分市)が発足させたサッカーチームで、監督と選手を兼任している。同6月から選手を連れて県内の高齢者施設や児童館を定期的に訪問。簡単な体操やサッカーボールを使ったゲームなどで一緒に汗を流す。

「勝ち負けにこだわらず、スポーツが苦手な人にも体を動かす楽しさを知ってほしい」と力を込め

活動を始めた当初、高齢者との上手な接し方が分からず戸惑つた。回を重ねるたびに「楽しみにしちよったよ」「今日は何をするよんかえ」などと声を掛けられるよう。「元気になつてもらうはずが、いつもみんなに元気をもらつています」と話す。

サッカー・大分トリニータの元選手。2013年までプレーし、他チームを経て16年にプロ生活を終えた。その後、「スポーツを通じて大分を盛り上げる」というジエイリースの理念に共感し、入社。通常業務もこなしている。

岡山県倉敷市出身。子ども時代は毎日サッカーに明け暮れたといふ。「第二の故郷である大分に少しでも貢献できたらうれしい。サッカーを続けられる喜びも純粋に感じている」

大分市内で1人暮らし。休日は友人とグルメ巡りやゴルフを楽しみ、県内の食や自然を満喫している。

(三井祥聖)

永芳 順磨さん (33)

第二の故郷・大分に貢献を